

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 477

事務事業名	小学校校舎等整備事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会事務局		
課名	教育総務課		
課長名	西村 隆	内線	377
担当者名	松尾 亮佑	内線	363

基本目標		人を育むまち
政策	010203	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		教育環境の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業コード	050000	小学校校舎等整備事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	小学校の児童、教職員及び地域住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	学校は児童にとっての学習及び生活の場であり、児童の健康と安全を十分に確保することはもちろん、豊かな人間性を育み、快適な施設環境を維持する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	学校施設の長寿命化及び快適な施設環境の維持管理のためには、日常の点検及び定期的な維持補修が必要であり、緊急的な補修及び学校現場からの要望に対し、必要に応じて施設の維持補修等を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	学校教育法第5条		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 維持補修に要した予算	計画値	千円	29,400	15,819	46,507	34,458	計画値に当初予算、実績値に決算(補正及び繰越を含む)を記入
		実績値		40,449	20,781	76,507		
		達成度	%	137.6%	131.4%	164.5%		
成果指標	① 維持補修にかかる契約件数	計画値	件	120	120	100	150	
		実績値		153	67	178		
		達成度	%	127.5%	55.8%	178.0%		
②		計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	40,449	20,781	76,507	34,458	77,653	77,653	77,653	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他					64,491			
一般財源	40,449	20,781	76,507	34,458	13,162	77,653	77,653	
② 人件費(千円)	3,904	4,187	6,059	5,989	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.40	0.40	0.70	0.80	施設維持管理(小学校15校)	施設維持管理(小学校15校)	施設維持管理(小学校15校)	
時間外勤務(時間)	85	27	6	30				
嘱託等人数(人)	0.30	0.60	0.60	0.06				
フルコスト(①+②千円)	44,353	24,968	82,566	40,447				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	学校施設の日常・定期点検の上、緊急性の高い案件を優先して営繕を行っている。
事業が抱える問題・課題等	学校施設の老朽化が進んでおり、破損した施設の原状回復及び安全性確保のための補修を優先して行っているが、根本的な解決のための大規模な改修が必要な時期にきている。また、限られた予算の中で機能性向上のための改修等の学校要望に対応することが難しくなりつつある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
施設整備の適切な維持管理の指導を徹底し、限られた予算で老朽化が進む学校施設の営繕を行っており、これ以上の削減の余地はない。 1校あたり7千万円以上の大規模改修を進めることで、公立学校施設環境改善交付金の対象になる。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	アセットマネジメント策定後は、長寿命化を図るための施設整備計画を策定し、交付金を活用しながら施設整備を進めていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	児童の健康と安全が確保でき、快適な学習環境を維持できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。